

(2) 圃場準備、施肥、播種

ア 耕起、土壌改良材散布

プラウ耕による草地土壌の反転を行います。堆肥は10アールあたり2～3トンを目安に施用します。石灰資材は、土壌PHに基づき目標値（PH6.5）に必要な量を施用します。リン酸資材は、土壌リン酸吸収係数、可吸態リン酸含量（mg/100g）に基づき、次ぎの量を施用します。

10アールあたりリン酸資材(kg) = 15 + 0.005 × リン酸吸収係数 + 可吸態リン酸含量による区分*

*可吸態リン酸含量による区分

区分	リン酸量 (kg/10a)
5mg/100g 以下 (欠乏)	5
5～10mg/100g (含む)	2.5
10mg/100g 以上 (含む)	0

イ 碎土・播種床形成

バーチカルロータリーハロやロータリーハロなどで、碎土し播種床を形成します。粘質土壌では、大きな土塊が形成されやすいので、何回か機械を走行させます。

ウ 施肥、播種

化成肥料と種子は、次ぎの表を目安に施用、播種します。

播種量と施肥量を目安

	種子(kg/10a)	化成肥料(kg/10a)		
		窒素	リン酸	カリウム
イタリアンライグラス	3～4	10	5	10
エンバク	2.5前後	10	12	10
極早生トウモロコシ	2.5～3.0*	15	12	10

* 畦間 75cm × 株間 17cm、栽植密度 8,000 本/10a

3 除染（完全更新）対象外の草地管理、トウモロコシの栽培

(1) 牧草地

ア 牧草地

牧草は平均気温が5℃になった頃から生育を開始しています。圃場が乾いたら、早めに施肥作業が行えるように機械の点検と圃場ごとの施肥量を確認しておきましょう。

イ 放牧地

春の気温が低い場合、牧草の土壌中マグネシウムの吸収が低下しやすいです。低マグネシウム血症（グラスステニー）の発生を予防するために、過去に発生履歴がある放牧地では、放牧前に苦土石灰を散布する、入牧後は放牧牛に酸化マグネシウムなどを給与するあるいはマグネシウム含有の鋳塩を設置するなどの対策を行きましょう。

(2) 飼料用トウモロコシ

ア 品種の選定

その地域で確実に黄熟期に到達する品種を選定します。特に、作付面積が大きい場合は、早晩性の異なる品種を組み合わせ、収穫期間の延長を図り、作業に無理がないようにしましょう。

イ 参考（早生品種の紹介）

本県で高位生産が期待できる早生品種の概要です（岩手県農業研究センター畜産研究所の平成23年度試験研究成果より）。

(ア) 品種名「ロイヤルデント TH680」

(イ) 特徴

- ・ 乾物収量、TDN 収量が高い。
- ・ 3年間の試験において、倒伏の発生なし。
- ・ 3年間の試験において、根腐れ病、すじ萎縮病の発生なし。黒穂病罹患率1%。すす紋病、ごま葉枯病に対しては中程度の強さ。

- ・ワンホープ乳剤（除草剤）に感受性あり。

ロイヤルデント TH680 と標準品種 36B08 の比較

品種	生草量 (kg/10a)	乾物			TDN 収量 (kg/10a)	播種から黄熟 期まで日数	播種から黄熟期まで 単純積算温度(°C)
		総量 (kg/10a)	雌穂 (kg/10a)	雌穂率 (%)			
TH680	6,767	1,939	1,029	53.0	1,404	121	2,464
36B08	6,033	1,777	956	53.7	1,290	120	2,478

※ 畜産研究所内圃場（標高 250m）における成績
 施肥量(kg/10a) 窒素 12、リン酸 14.4、カリウム 12
 採植密度(本/10a) 7,018 本(畝間 75cm×株間 19.0cm)

ウ 適正な堆肥の施用

堆肥の多量投入はトウモロコシの硝酸態窒素含量を高めるほか、ミネラルバランスも崩れ、家畜の栄養上問題となります。10a 当たり 3~4t の施用としましょう。多量施用する場合は、堆肥の肥効を考慮し、化学肥料の施用量を減らします。

エ 霜害に注意

トウモロコシの発芽は、播種後約 1 週間ですので、予想される晩霜の 1 週間前が播種の早限です。これまで度々霜害を被っている圃場では、播種日を検討するとともに、覆土を 5cm 程度に厚くするなどの対策を講じましょう。

オ 栽植本数

密植すると雌穂が小さくなり TDN 含量が低下するだけでなく、倒伏にも弱くなります。10a 当たりの適正栽植本数は、極早生品種で 8,000 本、早生品種で 7,000 本、中生品種で 6,500 本、晩生品種で 6,000 本程度です。

カ その他

昨年は、一部の地域でタマナヤガ（ネキリムシ）による食害が 6 月下旬に発生しました。アカザ・タデ類などの幼雑草が産卵の誘因となりやすいので、雑草防除を徹底します。また、発生状況に注意しつつ必要に応じて薬剤を散布します。

春の農作業安全月間実施中！

[4月15日]
[~6月15日]

農作業 笑顔の豊作 無事故から

次号は 5 月 31 日(木)発行の予定です。気象や作物の生育状況により号外を発行することがあります。発行時点での最新情報に基づき作成しております。発行日を確認のうえ、必ず最新情報をご利用下さい。